

平成 30 年 5 月 15 日



各 位

株 式 会 社 F R O N T E O
代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏
(コード番号：2158 東証マザーズ)
(NASDAQ ティッカーシンボル：FTEO)
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 上 杉 知 弘
電 話 番 号 0 3 - 5 4 6 3 - 6 3 4 4

平成30年3月期通期予想値と実績値との差異、営業外費用（為替差損）の計上
および繰延税金資産と繰延税金負債の取崩しに関するお知らせ

平成30年2月14日に公表いたしました平成30年3月期通期連結業績予想の修正数値
と本日公表の実績値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

また、平成30年3月期に、円高による営業外費用（為替差損）の計上を行いました
こと、ならびに、米国で税制改革法が成立したことに伴い、繰延税金資産および繰延
税金負債の取崩しを行いましたことをあわせてお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期通期連結業績予想と実績の差異（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純損失 (△)	1株当たり 当期純損失 (△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,600	200	100	△895	△23.55
実績値 (B)	12,332	231	37	△725	△19.08
増減額(B-A)	△268	31	△63	170	—
増減率 (%)	△2.1	15.5	△63.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	11,207	△1,206	△1,254	△948	△26.07

2. 差異の理由

売上高および営業利益は概ね前回公表した予想どおりの結果となりました。

しかしながら、平成 30 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）において円高による為替差損 192 百万円を営業外費用に計上したことにより、経常利益は予想を下回りました。

また、米国において税制改革法が 2017 年 12 月 22 日に成立したことに伴い、当社の連結子会社である FRONTEO USA, Inc. の繰延税金資産および繰延税金負債の再評価、取崩しを行い、平成 30 年 3 月期の法人税等調整額として 161 百万円を利益計上いたします。この結果、親会社株主に帰属する当期純損失は前回予想より 170 百万円改善され 725 百万円となりました。

以上